

平成25年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	神奈川県		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		区分								
					財政健全化等	×	歳入総額	平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	実質収支比率	平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)					
市町村名	川崎市		地方交付税種地	1-9	財源超過	×	歳入歳出差引	4,647,903	3,684,238	(※1)	(102.7)	(104.2)					
人口	22年国調(人)	1,425,512	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	246,582	-1,204,183	公債費負担比率	19.7	19.5					
	17年国調(人)	1,327,011			過疎	×	積立金	114,170	38,992	健全化判断比率							
	増減率(%)	7.4			山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率							
住民基本台帳人口(※6)	26.01.01(人)	1,433,765	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	1,381,262	1,543,053	連結実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	1,404,423		2,444	2,778	指数表選定	○	実質単年度収支	-1,020,510	-2,708,244	実質公債費比率	9.1	10.1				
	25.03.31(人)	1,425,472	第2次					基準財政収入額	219,199,261	217,005,540	資金不足比率(※4)						
	うち日本人(人)	1,396,350		126,687	146,583			基準財政需要額	220,290,268	217,853,163							
	増減率(%)	0.6		21.2	21.0			標準税収入額等	287,168,870	284,098,153							
	うち日本人(%)	0.6		469,846	498,105			経常経費充当一般財源等	305,211,554	302,712,800							
面積(km ²)	142.70		第3次	78.4	71.5		歳入一般財源等	366,119,330	346,520,484								
人口密度(人/km ²)	9.990																
世帯数(世帯)	662,694																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	842,866,974	849,418,820							
	市区町村長	1	12,500	一般職員	9,380	30,888,340	3,293	うち公的資金	108,022,966	107,384,785							
	副市区町村長	3	9,900	うち消防職員	1,433	4,377,815	3,055	債務負担行為額(支出予定額)	129,895,019	121,941,725							
	教育長	1	5,327	うち技能労務職員	1,527	5,095,599	3,337	収益事業収入	3,687,986	3,577,254							
	議会議長	1	10,300	教育公務員	491	1,997,365	4,068	土地開発基金現在高	466,502	1,033,184							
	議会副議長	1	9,200	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	2,503,393	3,732,845							
	議会議員	58	8,300	合計	9,871	32,885,705	3,332	減債基金	419,472	4,130,043							
				ラสบイレス指数			104.0	その他特定目的基金	25,492,878	27,527,238							
	一般会計等の一覧																
	項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名
(1)	一般会計	(8)	競輪事業特別会計	(12)	病院事業会計	(17)	卸売市場事業特別会計	(20)	神奈川県川崎競馬組合	(24)	川崎市国際交流協会						
(2)	母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	(9)	国民健康保険事業特別会計	(13)	下水道事業会計	(18)	港湾整備事業特別会計	(21)	神奈川県内広域水道企業団	(25)	かわさき市民活動センター						
(3)	公害健康被害補償事業特別会計	(10)	後期高齢者医療事業特別会計	(14)	水道事業会計	(19)	生田緑地ゴルフ場事業特別会計	(22)	神奈川県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(26)	川崎市文化財団						
(4)	勤労者福祉共済事業特別会計	(11)	介護保険事業特別会計	(15)	工業用水道事業会計			(23)	神奈川県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(27)	川崎市市民自治財団						
(5)	墓地整備事業特別会計			(16)	自動車運送事業会計					(28)	川崎市産業振興財団						
(6)	公共用地先行取得等事業特別会計									(29)	川崎市公園緑地協会						
(7)	公債管理特別会計									(30)	川崎・横浜公害保健センター						
										(31)	川崎市看護師養成確保事業団						
										(32)	川崎市シルバー人材センター						
										(33)	川崎市身体障害者協会						

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	288,988,743	49.5	265,536,559	89.3	普通税	257,218,664	89.0	1,828,193
地方譲与税	3,468,287	0.6	3,468,287	1.2	法定普通税	257,218,664	89.0	1,828,193
利子割交付金	529,963	0.1	529,963	0.2	市町村民税	133,706,718	46.3	1,828,193
配当割交付金	1,179,416	0.2	1,179,416	0.4	個人均等割	2,214,005	0.8	-
株式等譲渡所得割交付金	2,080,724	0.4	2,080,724	0.7	所得割	111,830,790	38.7	-
地方消費税交付金	12,357,545	2.1	12,357,545	4.2	法人均等割	3,938,677	1.4	-
ゴルフ場利用税交付金	36,715	0.0	36,715	0.0	法人税割	15,723,246	5.4	1,828,193
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	112,861,864	39.1	-
自動車取得税交付金	1,589,694	0.3	1,589,694	0.5	うち純固定資産税	112,495,189	38.9	-
軽油引取税交付金	3,912,851	0.7	3,912,851	1.3	軽自動車税	555,669	0.2	-
地方特例交付金	1,136,631	0.2	1,136,631	0.4	市町村たばこ税	10,094,413	3.5	-
地方交付税	1,696,117	0.3	1,091,007	0.4	釧産税	-	-	-
普通交付税	1,091,007	0.2	1,091,007	0.4	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	604,203	0.1	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	907	0.0	-	-	目的税	31,770,079	11.0	-
(一般財源計)	316,976,686	54.3	292,919,392	98.5	法定目的税	31,770,079	11.0	-
交通安全対策特別交付金	371,019	0.1	371,019	0.1	入湯税	607	0.0	-
分担金・負担金	7,634,693	1.3	-	-	事業所税	8,317,288	2.9	-
使用料	13,803,875	2.4	3,128,309	1.1	都市計画税	23,452,184	8.1	-
手数料	3,221,734	0.6	2,024	0.0	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	98,311,214	16.8	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	18,889,834	3.2	-	-	合計	288,988,743	100.0	1,828,193
財産収入	3,358,626	0.6	692,808	0.2				
寄附金	275,438	0.0	-	-				
繰入金	20,460,900	3.5	-	-				
繰越金	3,646,598	0.6	-	-				
諸収入	43,594,702	7.5	129,049	0.0				
地方債	53,561,000	9.2	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	14,945,000	2.6	-	-				
歳入合計	584,106,319	100.0	297,242,601	100.0				

区分		平成25年度	平成24年度
徴収率(%)	現・計	99.1	97.3
	市町村民税	98.7	96.0
	純固定資産税	99.3	98.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	61,803,338	実質収支	1,239,825
下水道	16,764,862	再差引収支	-7,563,504
病院	7,513,901	加入世帯数(世帯)	207,047
交通	1,185,892	被保険者数(人)	335,640
上水道	606,986	被保険者	保険税(料)収入額
国民健康保険	13,700,000	1人当り	国庫支出金
その他	22,031,697		保険給付費
			250

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,735,742	0.3	-	-	1,713,061
総務費	49,248,132	8.5	3,414,893	-	38,314,455
民生費	215,285,139	37.2	6,981,181	-	112,010,445
衛生費	59,587,966	10.3	7,922,413	-	43,599,617
労働費	1,009,088	0.2	-	-	285,118
農林水産業費	473,503	0.1	12,646	-	463,228
商工費	34,764,370	6.0	152,745	-	2,995,336
土木費	76,095,120	13.1	38,377,634	-	39,053,746
消防費	15,619,445	2.7	1,833,867	-	13,723,853
教育費	47,832,025	8.3	15,980,573	-	35,727,764
災害復旧費	994,006	0.2	-	-	922,059
公債費	75,627,988	13.1	-	-	72,652,565
諸支出費	1,185,892	0.2	-	-	1,185,892
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	579,458,416	100.0	74,675,952	-	362,647,139

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	312,063,440	53.9	208,571,239	201,035,621	64.4
人件費	91,277,293	15.8	80,528,615	79,294,422	25.4
うち職員給	64,844,064	11.2	57,728,905	-	-
扶助費	145,506,515	25.1	55,738,415	55,738,415	17.9
公債費	75,279,632	13.0	72,304,209	66,002,784	21.1
元利償還金	75,276,036	13.0	72,300,613	65,999,188	21.1
内訳					
うち元金	60,112,846	10.4	57,975,678	51,691,357	16.6
うち利子	15,163,190	2.6	14,324,935	14,307,831	4.6
一時借入金利子	3,596,000	0.0	3,596,000	3,596,000	0.0
その他の経費	191,725,018	33.1	136,642,474	104,175,933	33.4
物件費	61,848,915	10.7	51,786,658	48,100,795	15.4
維持補修費	6,493,249	1.1	4,862,375	4,862,375	1.6
補助費等	47,834,893	8.3	43,046,526	29,397,563	9.4
うち一部事務組合負担金	34,880	0.0	34,880	34,880	0.0
繰入金	35,551,910	6.1	32,460,043	21,799,959	7.0
積立金	2,184,382	0.4	80,081	-	-
投資・出資金・貸付金	37,811,669	6.5	4,406,791	15,241	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	75,669,958	13.1	17,433,426	-	-
うち人件費	2,895,016	0.5	2,739,473	-	-
普通建設事業費	74,675,952	12.9	16,511,367	-	-
うち補助	37,394,625	6.5	1,262,007	-	-
うち単独	36,795,016	6.3	15,248,966	-	-
災害復旧事業費	994,006	0.2	922,059	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	579,458,416	100.0	362,647,139	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成25年度 神奈川県川崎市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	579,376	575,602	3,774	194	16,802	1,000,593	
2 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	802	172	630	-	9	2,148	
3 公営健康被害補償事業特別会計	207	83	124	124	41	0	
4 勤労者福祉共済事業特別会計	96	96	0	0	17	0	
5 墓地整備事業特別会計	854	736	118	118	0	269	
6 公共用地先行取得等事業特別会計	5,696	5,696	0	-	503	1,471	
7 公債管理特別会計	231,993	231,993	0	-	0	0	
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成25年度

神奈川県川崎市

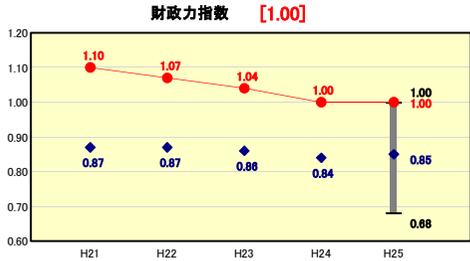
人口	1,433,765	人(H26.1.1現在)	-	%
うち日本人	1,404,423	人(H26.1.1現在)	-	%
面積	142.70	km ²		
歳入総額	584,106,319	千円	9.1	%
歳出総額	579,458,416	千円	111.5	%
実質収支	437,289	千円		
標準財政規模	303,205,524	千円		
地方債現在高	842,866,974	千円		
実質赤字比率	-	%		
連続実質赤字比率	-	%		
実質公債費比率	9.1	%		
将来負担比率	111.5	%		
市町村類型	H21 政令市 H22 政令市 H23 政令市			
(年度毎)	H24 政令市 H25 政令市			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

財政力

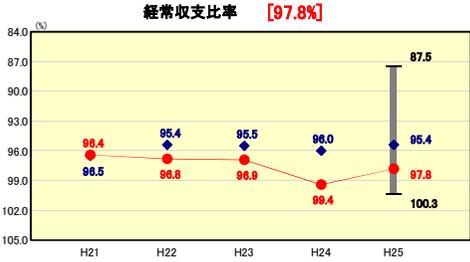
類似団体内順位 1/20 全国平均 0.49 神奈川県平均 0.91



財政力指数の分析概
 市民の所得水準や土地価格水準の高さなどから基準財政収入額が多く、また、市域面積が狭いことや高齢率率が比較的低いことなどから基準財政需要額が少ないため、類似団体と比較して指数が高いものの、平成24年度にかけて指数が低下しているのは、少子高齢化による社会保障関連経費の増などにより、基準財政需要額が増加していることによる。

財政構造の弾力性

類似団体内順位 17/20 全国平均 90.2 神奈川県平均 94.6



経常収支比率の分析概
 保育受入枠の拡大、障害福祉サービス利用者の増加などにより扶助費が増加しているものの、行財政改革の取組による人件費の縮減や市税収入の増などにより、経常収支比率は若干改善した。
 今後も、職員削減等による人件費の抑制に努めるなど、経常収支比率の抑制を図る。

人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 12/20 全国平均 116,288 神奈川県平均 99,280



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析概
 指定管理者制度の導入や、資源物収集などの業務における民間活用などにより物件費が増加しているものの、職員削減や給与等の見直しにより人件費が減少していることや、人口が増加していることにより、人口1人当たりの決算額は減少傾向であり、類似団体とほぼ同じ水準となっている。
 今後も、「行財政運営に関する改革プログラム」等に基づき、民間部門の活用とともに経費の見直しを進め、人件費と物件費のトータルコストの抑制に努める。

将来負担の状況

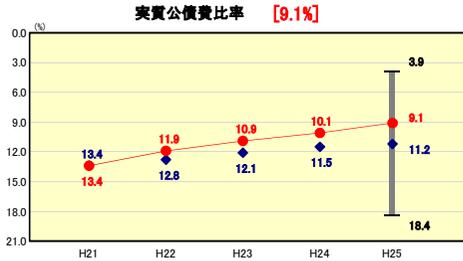
類似団体内順位 9/20 全国平均 51.0 神奈川県平均 118.3



将来負担比率の分析概
 地方債償還等へ充当できる財源が減少したものの、税収の増により標準財政規模が増加したことなどにより、前年度とほぼ同じ水準となっている。
 職員数の削減を図っていることから退職手当負担見込額が抑制されているが、引き続き将来の負担が軽減するよう取組を進め、財政の健全化を図る。

公債費負担の状況

類似団体内順位 6/20 全国平均 6.6 神奈川県平均 9.8



実質公債費比率の分析概
 減債基金への積立を着実に実施してきたことや、税収の増により標準財政規模が増加したことなどから、実質公債費比率は低下してきている。
 今後も、市債発行にあたっては、実質公債費比率や市債現在高等に留意しながら、将来世代に過度の負担を残さないよう適正な活用を努める。

定員管理の状況

類似団体内順位 15/20 全国平均 6.96 神奈川県平均 6.07



人口千人当たり職員数の分析概
 平成14年度から平成25年度までの行財政改革の取組により、約3,000人の職員を削減した結果、平均値に近づいてきている。
 今後も、「行財政運営に関する改革プログラム」等に基づき、執行体制の見直しなどに取り組む。

給与水準(国との比較)

類似団体内順位 20/20 全国市平均 98.6 全国町村平均 95.6



ラスパイレス指数の分析概
 行財政改革の取組として給与制度の見直しを行っており、平成19年4月に、職務・職責に応じた給料表への切替を実施した。
 ラスパイレス指数は4月1日を基準とするため、平成24年度の数値は112.3となっているが、本市においても、10月から国と同様の給与減額措置を実施したため、減額後の数値を基に算出すると104.8となる。
 これまで、ラスパイレス指数に影響を与えない特殊勤務手当など諸手当を中心に見直しを進めてきたが、今後も引き続き、給与の適正化に努め、人件費の削減を図る。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

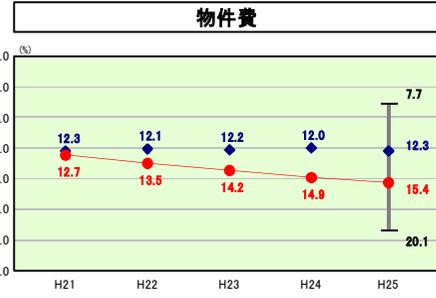
神奈川県川崎市

経常収支比率の分析

人口	1,433,765	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	1,404,423	人(H26.1.1現在)	運輸実質赤字比率	-	%
面積	142.70	km ²	実質公債費比率	9.1	%
歳入総額	584,106,319	千円	将来負担比率	111.5	%
歳出総額	579,458,416	千円	市町村類型	H21 政令市 H22 政令市 H23 政令市	
実質収支	437,269	千円	(年度毎)	H24 政令市 H25 政令市	
標準財政規模	303,205,524	千円			

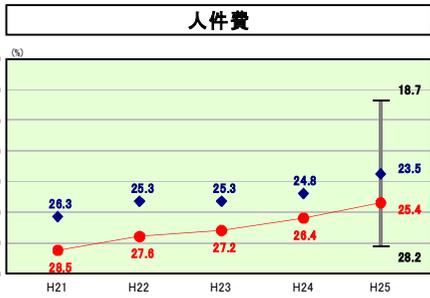


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。



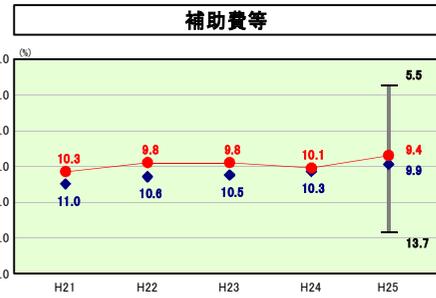
物件費の分析欄

指定管理者制度の導入や、資源物収集などの業務における民間活用などを進めたため、前年度に比べ比率が増加し、類似団体平均を上回っている。
 今後も、「行財政運営に関する改革プログラム」等に基づき、管理運営経費の縮減などに取り組む。



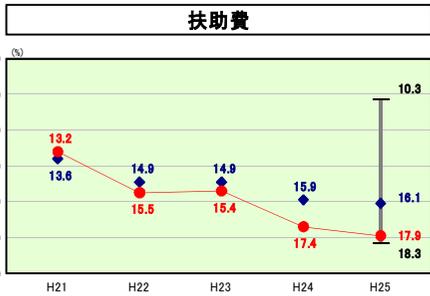
人件費の分析欄

これまでの行財政改革の取組として、職員削減や給与等の見直しを行っており、人件費の割合は減少傾向で推移している。
 今後も、「行財政運営に関する改革プログラム」等に基づき、給与制度や執行体制の見直しなどに取り組む。



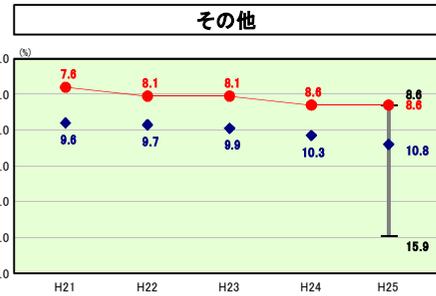
補助費等の分析欄

公営企業繰出金の減少などにより、比率は減少に転じている。
 今後も、「行財政運営に関する改革プログラム」等に基づき、補助・助成金の見直しや公営企業の健全化などに取り組む。



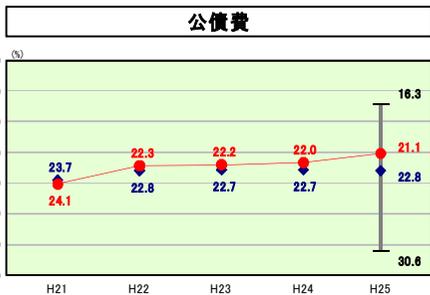
扶助費の分析欄

近年は、保育所の待機児童対策などの子育て支援施策の強化や障害福祉サービスの利用者が増加していることなどにより、増加傾向となっている。



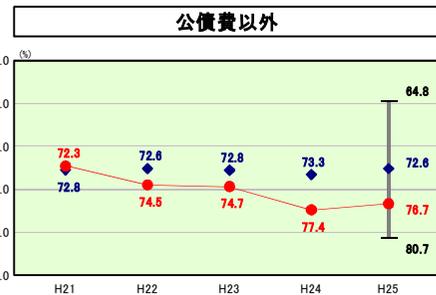
その他の分析欄

その他の主なものは、公営企業会計に対する繰出基準に基づく繰出金であり、類似団体と比較して少ないものの、増加傾向にあるため、一般会計からの繰入金に頼らない自立した財政運営を行うよう、引き続き公営企業の経営健全化に取り組む。



公債費の分析欄

投資的経費の減少に伴う市債発行の減少により、平成22年度以降は類似団体内平均値をやや下回る水準で推移している。今後も、市債発行にあたっては、実質公債費比率や市債現在高等に留意しながら、将来世代に過度の負担を残さないように適正な活用に努める。



公債費以外の分析欄

職員削減や、給与等の見直しなど、これまでの行財政改革の取組により、人件費の割合は減少傾向で推移しているものの、保育受け入れ枠の拡大、障害福祉サービス利用者の増加など、人件費の減少を上回る扶助費の増加などにより、増加傾向で推移している。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

神奈川県川崎市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

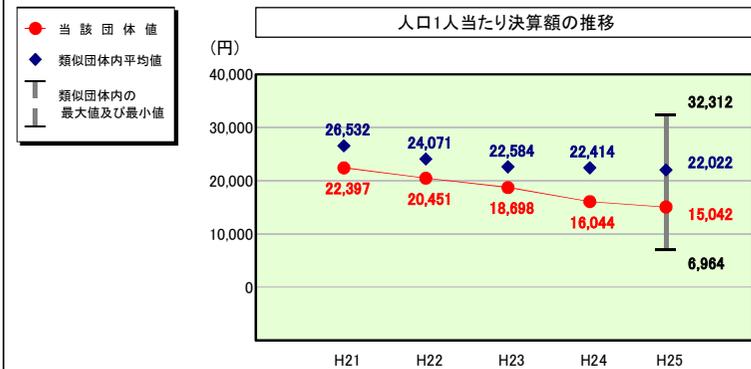
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	91,277,293	63,663	62,396	▲ 2.0
賃金(物件費)	554,205	387	1,393	▲ 72.2
一部事務組合負担金(補助費等)	140	0	62	▲ 100.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	4,310,695	3,007	1,508	▲ 99.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	6,982	5	25	▲ 80.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,498,334	1,045	1,888	▲ 44.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	2,895,016	2,019	1,209	▲ 67.0
▲退職金	▲ 8,282,242	▲ 5,777	▲ 6,084	▲ 5.0
合計	92,260,423	64,348	62,398	3.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.88	6.59	0.29
ラスパイレス指数	104.0	100.6	3.4

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

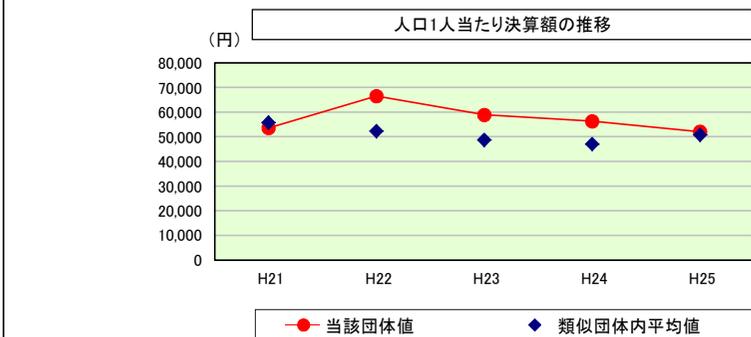


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	31,141,998	21,720	34,621	▲ 37.3
積立不足額を考慮して算定した額	1,744,933	1,217	3,627	▲ 66.4
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	36,731,055	25,619	19,984	28.2
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	14,138,478	9,861	13,756	▲ 28.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	215	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	832,802	581	1,113	▲ 47.8
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	▲ 20,881,793	▲ 14,564	▲ 16,355	▲ 11.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 42,140,167	▲ 29,391	▲ 34,950	▲ 15.9
合計	21,567,306	15,042	22,022	▲ 31.7

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

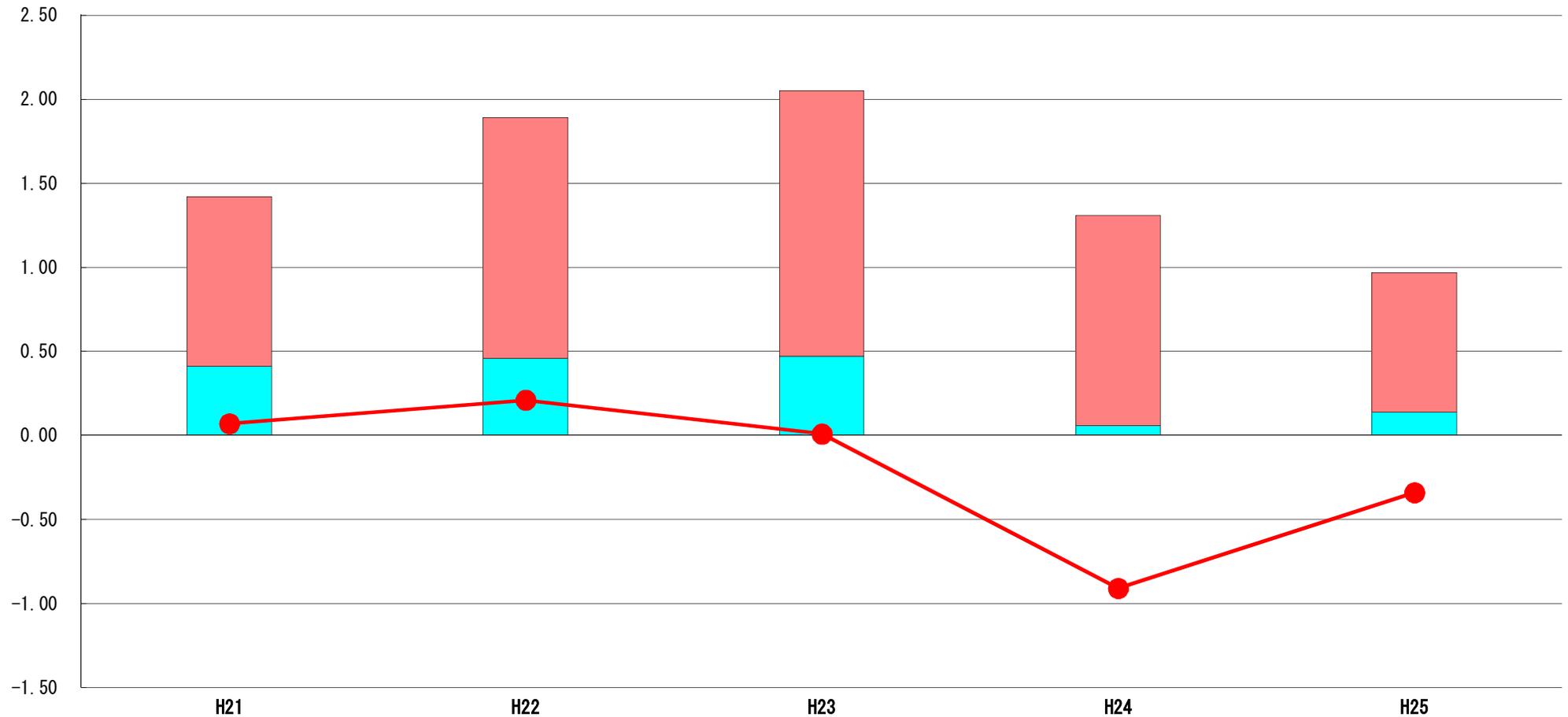
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H21	73,670,375	53,623	▲ 19.4	55,769	▲ 1.8	▲ 17.6
うち単独分	35,440,134	25,796	▲ 39.0	31,551	▲ 4.2	▲ 34.8
H22	91,960,716	66,556	24.1	52,334	▲ 6.2	30.3
うち単独分	41,801,588	30,254	17.3	29,965	▲ 5.0	22.3
H23	81,803,340	58,916	▲ 11.5	48,794	▲ 6.8	▲ 4.7
うち単独分	37,708,020	27,158	▲ 10.2	25,698	▲ 14.2	4.0
H24	80,335,013	56,357	▲ 4.3	47,129	▲ 3.4	▲ 0.9
うち単独分	39,314,612	27,580	1.6	23,069	▲ 10.2	11.8
H25	74,675,952	52,084	▲ 7.6	50,848	7.9	▲ 15.5
うち単独分	36,795,016	25,663	▲ 7.0	22,583	▲ 2.1	▲ 4.9
過去5年間平均	80,489,079	57,507	▲ 3.7	50,975	▲ 2.1	▲ 1.6
うち単独分	38,211,874	27,290	▲ 7.5	26,573	▲ 7.1	▲ 0.4

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成25年度

神奈川県川崎市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
 財政調整基金残高		1.01	1.43	1.58	1.25	0.83
 実質収支額		0.41	0.46	0.47	0.06	0.14
 実質単年度収支		0.07	0.21	0.01	▲ 0.91	▲ 0.34

分析欄

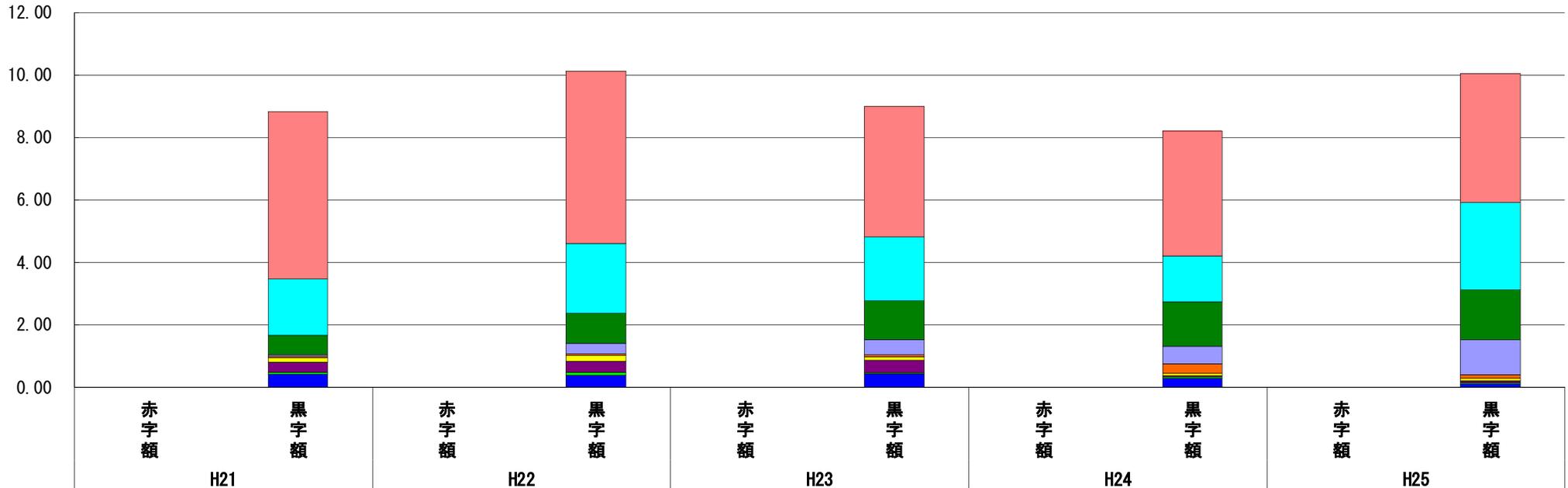
財政調整基金については、平成24年度に引き続き、平成25年度においても財源対策として取り崩しを行ったため、残高が減少している。
 実質収支額については、平成22年度及び平成23年度は税收増等により増加したものの、平成24年度は税收減等により大きく減少し、平成25年度も低い水準にとどまっている。
 実質単年度収支については、平成24年度に引き続き、平成25年度においても財政調整基金を取り崩したことにより赤字となった。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成25年度

神奈川県川崎市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度		H21	H22	H23	H24	H25
	赤字額	黒字額					
水道事業会計			5.36	5.53	4.18	4.00	4.14
工業用水道事業会計			1.82	2.23	2.04	1.47	2.80
病院事業会計			0.61	0.97	1.26	1.43	1.60
下水道事業会計			0.05	0.33	0.47	0.55	1.11
介護保険事業特別会計			0.05	0.05	0.07	0.31	0.12
生田緑地ゴルフ場事業特別会計			0.15	0.19	0.11	0.08	0.08
一般会計			0.31	0.35	0.40	0.03	0.06
競輪事業特別会計			0.07	0.11	0.04	0.05	0.04
その他会計（赤字）			-	-	-	-	-
その他会計（黒字）			0.41	0.37	0.42	0.28	0.10

分析欄

対象となる全ての会計で実質収支の赤字や資金不足は発生していない。

平成22年度については、一般会計の実質収支が増加したほか、公営企業会計の剰余額が増加（主に病院事業会計）したことにより、黒字額が増加した。

平成23年度については、一般会計の実質収支が増加したものの、公営企業会計の剰余額が減少（主に水道事業会計）したことにより、対前年度より黒字額が減少した。

平成24年度については、一般会計の実質収支が減少したほか、公営企業会計の剰余額が減少（主に工業用水道事業会計）したことにより、対前年度より黒字額が減少した。

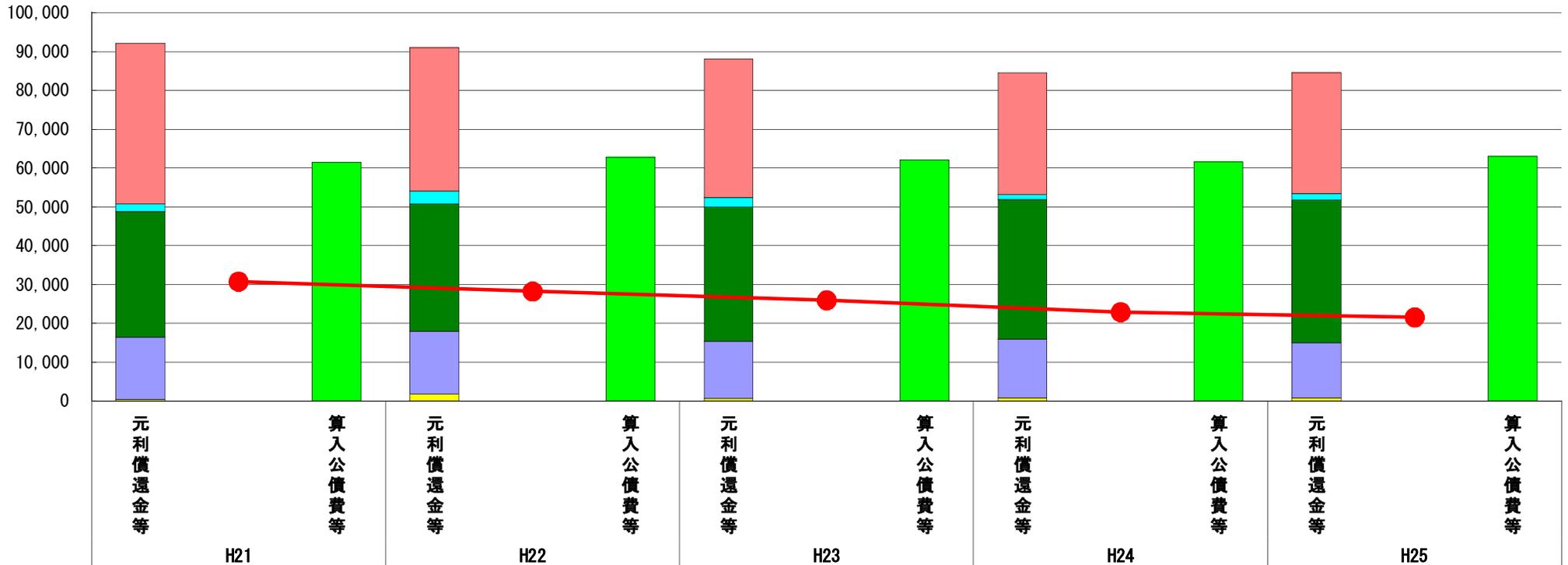
平成25年度については、一般会計の実質収支が増加したほか、公営企業会計の剰余額が増加（主に工業用水道事業会計・下水道事業会計）したことにより、対前年度より黒字額が増加した。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

神奈川県川崎市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等(A)	元利償還金		41,372	36,852	35,697	31,318	31,142
	減債基金積立不足算定額		1,942	3,364	2,412	1,241	1,745
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		32,390	32,766	34,532	36,004	36,731
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		16,031	16,162	14,730	15,168	14,138
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		427	1,812	691	755	833
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		61,393	62,698	62,102	61,615	63,022
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		30,769	28,258	25,960	22,871	21,567

分析欄

平成22年度については、積立繰延の解消などによる元利償還金の減少及び特定財源の増加などによる算入公債費等の増加により、実質公債費比率の分子は減少している。

平成23年度については、定時償還元金の減や企業債償還金への繰出金の減などによる元利償還金等の減少により、実質公債費比率の分子は減少している。

平成24年度については、減債基金積立金の積立不足解消に伴う既往償還元金の減などによる元利償還金等の減少により、実質公債費比率の分子は減少している。

平成25年度については、企業債償還金への繰出金の減による準元利償還金等の減及び控除可能特定財源の増加などにより、実質公債費比率の分子は減少している。

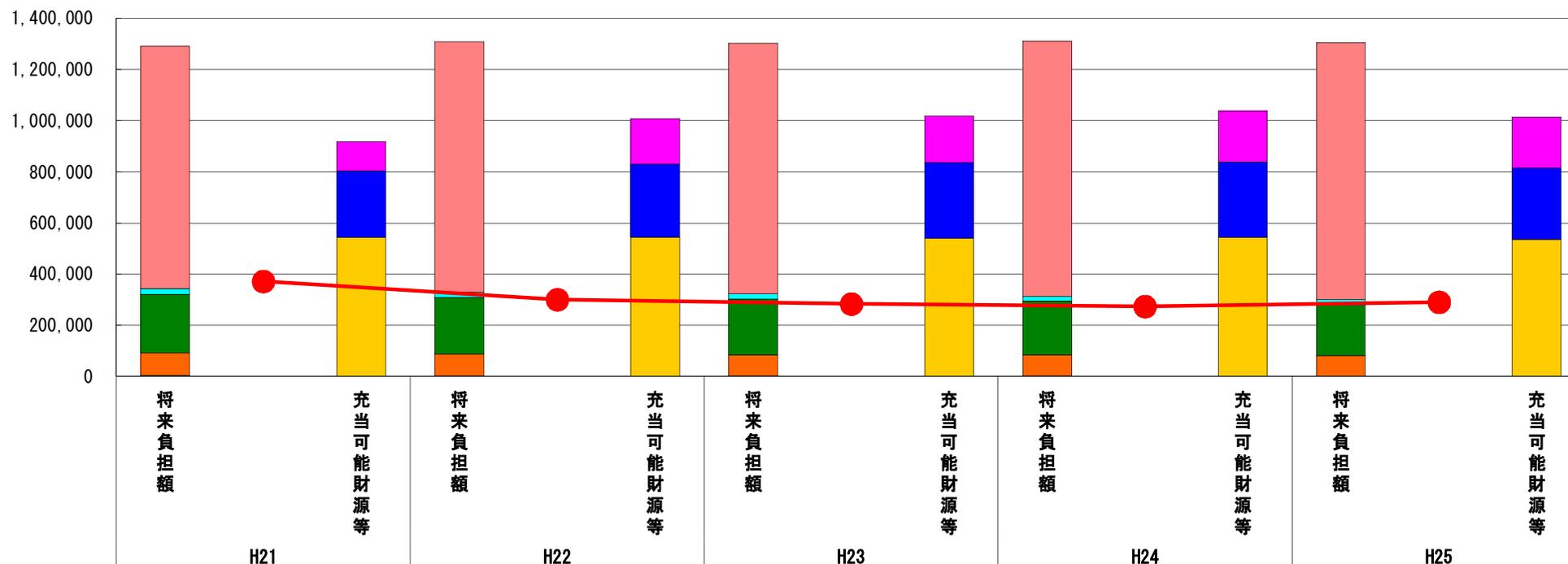
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

神奈川県川崎市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		946,441	978,315	978,797	998,158	1,004,481
	債務負担行為に基づく支出予定額		21,554	19,810	20,202	19,397	22,283
	公営企業債等繰入見込額		230,717	222,268	218,321	210,077	197,376
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		87,369	84,872	82,159	82,125	80,047
	設立法人等の負債額等負担見込額		3,698	2,208	1,720	1,153	805
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		167	188	200	79	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		114,589	176,201	182,488	197,893	197,746
	充当可能特定歳入		259,837	287,772	294,876	294,544	281,096
	基準財政需要額算入見込額		543,371	543,188	540,338	544,366	534,845
(A) - (B)	将来負担比率の分子		372,150	300,500	283,697	274,186	291,305

分析欄

将来負担比率の分子は、ほぼ同じ水準で推移している。

将来負担額については、臨時財政対策債等の発行により地方債残高は増加しているものの、下水道事業会計等への公営企業債等繰入見込額の減や、職員数の減による退職手当見込額の減により、全体的には横ばいで推移している。

充当可能財源等については、都市計画事業に係る地方債の現在高等の減少に伴う、充当可能な都市計画税の減少などにより減少している。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。